

ごあいさつ



公益財団法人 日本テニス協会

会長 山西 健一郎

この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された方々に謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご回復をお祈り申し上げます。また、日々感染拡大防止や治療などにご尽力されている医療従事者の皆さまに心より感謝申し上げます。

第36回テニス日本リーグは、日本経済を担う企業の対抗戦として経済回復と社会情勢の好転を支援できるよう願いを込めての開催となります。そして本大会の開催は、日頃実業団テニスの活動に温かいご理解をいただき、その発展にご尽力を頂戴している各企業の方々と、ご声援をいただいている皆様のご支援の賜物と、深い敬意と感謝を申し上げる次第です。

今夏、待望の東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、世界中のトップアスリートたちが集結しました。そこで繰り広げられた数々のドラマはスポーツの持つ力を身近に感じさせ、なかでも日本人選手の活躍は、私たちに多くの勇気と希望と感動を与えてくれました。錦織選手、大坂選手はじめテニス競技に参加した選手の皆さんの引き続きの活躍に期待しています。

テニス日本リーグも、四大大会に出場経験のある選手や国内トップクラスの選手による日本最高峰の団体戦として、その頂点を目指し激戦が繰り広げられます。出場を果たされました各企業の監督、選手、関係者の皆様にご心よりお祝いを申し上げますと共に、選手の皆様には、日頃の練習の成果と団体戦ならではの「チームワーク」を発揮され、悔いのない熱き戦いと、各企業の代表選手として、すべての世代のテニス選手の模範となる「フェアプレー」の精神による感動を期待しております。

最後になりましたが、ご後援をいただいております日本経済新聞社様、並びにご協賛を頂戴しておりますヨネックス株式会社様をはじめ多くの協賛会社様、また大会開催・運営にご尽力いただくすべての関係者の皆様にご心からの感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ



公益財団法人 日本テニス協会
実業団委員会

委員長 矢澤 猛

昨年度は、JTA 実業団委員会の運営担当であります全国ビジネスパル・テニス、全国実業団対抗テニストーナメント、テニス日本リーグの全ての大会が新型コロナウイルス感染症の脅威により、中止という非常に残念な結果となりました。今年度は全国ビジネスパル・テニスと全国実業団対抗テニストーナメントは、第5波のコロナ感染状況となり、コロナ禍は引き続き猛威を振るっておりましたが、各チームの熱意と共にスポーツ庁やJTAの対策ガイドライン並びに各大会会場のご指導の下、安心安全を第一に様々な対策を行い、無事開催することが出来ました。そして国内最高峰の実業団チーム戦でありますテニス日本リーグも、関係各位のテニスへの情熱とご協力によって何とか開催出来る運びとなり大変嬉しく思っております。各チームの皆様には感染対策による様々な制約があるかと思いますが、例年通り素晴らしい大会にしたいと思しますので、是非ご協力をお願い致します。

昨年来、テニス界も存分な練習も出来ないような、今までに経験の無いコロナ禍での厳しい環境であったと思います。その中で各地域の予選を勝ち抜き、そして広島で開催された第35回全国実業団対抗テニストーナメントに出場して見事勝ち抜き、第36回テニス日本リーグ出場資格を得られたチームの皆さんに、その努力と活躍に敬意を表し祝福させていただきます。今年は世代交代を感じさせられるような初出場チームや暫くぶりの復帰チームが多くなっており、更なる活気ある素晴らしい熱戦が繰り広げられることが期待されていると思います。今年開催されたオリンピックやパラリンピック出場選手に負けない意気込みで来年2月の決勝トーナメント出場、そして優勝目指して頑張ってください。

最後になりましたが、長年に亘ってご後援を賜っております日本経済新聞社様、ご協賛頂いておりますヨネックス株式会社様をはじめ、主管、協力いただきます各地域協会、都県協会の皆さま、並びに関係者の皆さまにお礼を申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。